

教員 EA プロジェクト応募資料

応募区分	教育実践部門
所属（園・学校名）	北方町立こども園
氏 名	熊田 亜希子 （5歳児担任）
取り組んだ課題	多様で豊かな体験活動を通して、『非認知能力』を育てる。 【卒園までに目指す子どもの姿】 体験を通して見付けたことに自ら関り、仲間と工夫してやり抜く子
具体的な活動内容	<p>本園は、義務教育学校である北方町立北学園に隣接し、『たくましい北方の子』が育つように15年間の見通しをもって教育・保育に当たっている。幼児期は、生涯にわたって学ぶ力の基礎となる『非認知能力』の育成に好適期であることを考慮し、その力が確実に育つように、多様で豊かな体験活動を工夫し、実践を行っている。</p> <p>【特に大切にしている活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①主体性・協同性を育て、やり遂げた自信を育む『自由遊び』 ②地域の自然・文化・人に触れ、地域への愛着と意欲を育む活動 ③異年齢交流（未就園児・義務教育学校・高等学校等）を通して、人と関わる楽しさを育む活動 <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①『自由遊び』…子ども達が心を動かし遊びに没頭したり、友達と力を合わせる必然性があったりする環境を設定した。砂場（赤土）遊びでは、水と砂（赤土）を混ぜると感触が変わったり、硬さが変わったりすることに気付き、自分がイメージした形ができるように、繰り返し試し続ける姿（主体性＝自ら設定した目標達成への粘り強い取組）があった。また、友達とイメージを伝え合って作りたいものを決め、実現させるために自分達で役割分担をし、目標に向かって力を合わせる姿（協同性＝共通の目標に向けた葛藤を乗り越えた協力）があった。 ②『地域の自然・文化・人に触れる活動』…円鏡寺に遠足に出かけたり、地域行事『時の太鼓』の催しに参加して、地域の人から話を聞き、民謡と一緒に踊る場を設定したりした。地域の文化や人々の活動ぶりに心が動かされたことで、友達と力を合わせ、感性豊かなお神輿づくりをしたり、学年で一緒に民謡を踊って楽しんだりして、園のお祭りをやり遂げることで自信を育んだ。（主体性・協同性） ③『異年齢交流』…町内の岐阜農林高等学校生と花の栽培をし、毎日世話を続けた。また、一緒に遊んだり、高校生とのリレー対決に挑んだりすることで、身近な人に親しみ、力を合わせる喜びを感じた。（協同性）
取り組み成果	『自由遊び』により、主体性・協同性が育ち、繰り返し続け、やり遂げることで自信を育むことが出来た。また、『地域の自然・文化・人に触れる体験』、『異年齢交流』では、地域や身近な人に親しみをもったり、体験を遊びに取り入れて工夫して友達とやり遂げ、自信を育んだりした。こうした非認知能力の育ちに伴って、『幼児期の終わりまでの育ってほしい10の姿』である、「社会生活との関わり」、「自立心」、「協同性」、「豊かな感性と表現」、「自然との関わり・生命尊重」等が育ち、姿として現れた。
今後の活動展開	5歳児としての園生活も間もなく折り返し地点を迎える。『架け橋期の接続』を考えた時、今後、最も力を入れるべき内容は、新しい環境でもやり抜く力（自立心）の育成であると考えている。「できないことでも乗り越えてやり抜く」ことで達成感が生まれ、就学への自信につながっていく。一人一人の得意・不得意を理解し、寄り添いながらやり抜く力を育成していく。
園長所見	本保育教諭は、常に子どもの視点から環境を見直し、心が動き、仲間と協同する必然のある環境を設定している。また、子どものよき理解者として、遊びの中での一人一人の動きや表情、言葉から、その子が気付き、学びを深め、仲間関係を紡ぐことが出来るよう適切な援助や調整を行っている。意識に沿った自然な流れの教育・保育を行う中で自信を育み、『非認知能力』が育つ実践を行っている。

参考資料

【主体性・協同性を育てる『自由遊び』】

水路のある池を作るという願いを共有し、役割分担（水汲み・運搬・工事）をして、取り組む子ども達



【地域の自然や文化、人に触れる遊び】

『北方祭り』、『時の太鼓顕彰』での楽しかった思い出をきっかけにして、自分達のお祭りを企画し、楽しむ子ども達



【異年齢と交流する活動】

高校生と花の栽培に取り組み、リレー対決で競って楽しむ子ども達

